



Mini Disclosure

2025年9月中間期

第152期 ミニディスクロージャー誌

営業の中間ご報告

2025年4月1日から2025年9月30日まで



静岡中央銀行

お客様・地域社会と共に発展し ベストパートナーとして信頼される銀行を目指して

皆さまには、日頃より静岡中央銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、静岡中央銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくため、2025年9月中間期ミニディスクロージャー誌「第152期営業の中間ご報告」を作成しましたので、ご一読いただければ幸いと存じます。

当行は、2024年4月より2年間を計画期間とする第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。

基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである「訪問頻度管理」を深化させ、お客様と地域に寄り添った支援を継続するとともに、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで、地域金融機関として、「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」であることを役職員一丸となって目指してまいります。

今後も、皆さまのベストパートナーとして、幅広いニーズに迅速かつ適切に対応し、地域金融機関としての役割を十分に果たせるよう努めてまいりますので、皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月



取締役社長

小森 博史

取締役会長

清野 真司

当行の概要

- 名 称 株式会社静岡中央銀行
- 本店所在地 沼津市大手町4丁目76番地
- 設 立 1926年(大正15年)11月12日
- 資 本 金 20億円
- 店 舗 数 43店舗(うち出張所5)
- 従 業 員 数 449人

(2025年9月30日現在)

目 次

- ごあいさつ・当行の概要 …… 1
- 第15次中期経営計画 …… 2
- 業績ハイライト …… 3
- 地域の皆さまと共に …… 5
- 連結財務諸表 …… 11
- 単体財務諸表 …… 12
- 株式/役員/連結子会社の状況 …… 13
- 店舗のご案内 …… 14

- 当行は、2024年4月より第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである訪問頻度管理を深化させ、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」を目指してまいります。



第15次中期経営計画 深化Ⅱ 持続的成長に 向けた挑戦

期間／2024年4月～2026年3月(2年間)

経営理念
堅実で健全な経営

目指す銀行像
お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして信頼される銀行

基本方針
お客様中心主義の深化
“ビジネスモデル＝訪問頻度管理”を深化させ、
お客様と地域に寄り添って
ニーズや課題に応える(解決する)ことで、共に発展を目指す。

行動指針
Passion(熱意)& Team support(チーム対応)

5つの基本戦略

Ⅰ お客様中心主義の実践

- 1.信頼される行動の実践
- 2.3つのCCの実践
- 3.利便性の高い商品・サービスの提供と
課題解決支援の実践

Ⅱ 営業改革の実践

- 1.訪問頻度管理のステップアップ
- 2.金融仲介機能の発揮と地域経済活性化への貢献
- 3.預貸併進と真のメイン先の増加

Ⅲ 業務改革の実践

- 1.生産性向上と効率化に向けた業務改革
- 2.経営資源の最適化とサステナビリティへの取り組み
- 3.店舗戦略

Ⅳ 活力ある人事戦略

- 1.人事制度改革、採用体制の強化と多様化
- 2.挑戦する人材の育成、多様な人材の登用と活躍機会の拡大
- 3.行員ロイヤルティ働きがい向上による活力アップ

Ⅴ 経営基盤の強化

- 1.基礎的利益的持続的拡大
- 2.安定的な有価証券収益の確保
- 3.持続的成長の基礎となる経営管理の強化
(創立100周年に向けた対応)

用語
解説

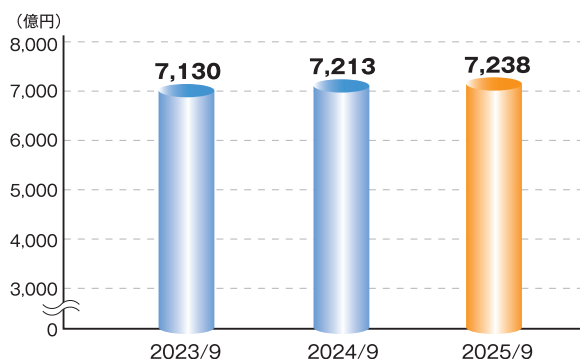
「CC」とは？

Customer Centric(カスタマーセントリック)の略語で、「お客様中心主義」を意味します。
「お客様(カスタマー)を中心(セントリック)に」物事を考え、判断し、行動することを指します。

■預金残高（平均残高）

～年間増加率0.3%～

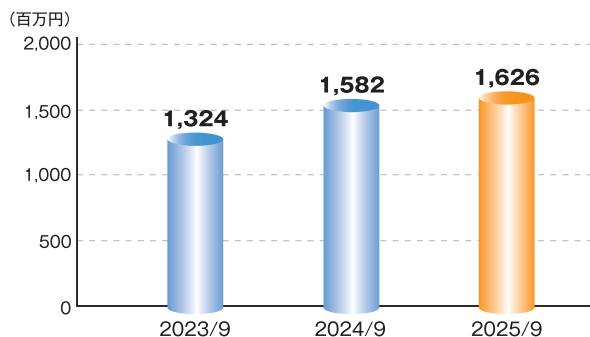
お客様のニーズやライフステージに応じたさまざまな金融商品・サービスの提供に努め、お客様にメインバンクとしてご利用いただくことを目指して積極的な営業活動を展開したこと等により、預金平残は前年同期末比25億円0.3%増加の7,238億円となりました。



■中間純利益

～5年連続の増益～

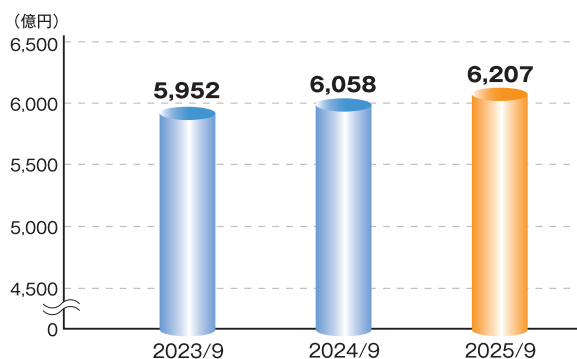
本業が堅調に推移したことにより、中間純利益は前年同期比44百万円2.8%増益の16億26百万円となりました。



■貸出金残高（平均残高）

～年間増加率2.4%～

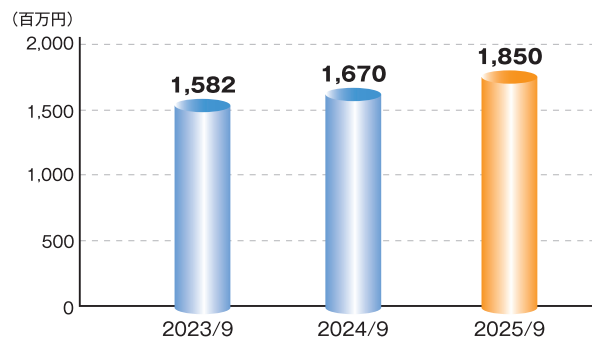
定期的な顧客訪問によって金融仲介機能の発揮に努め、資金繰り支援にとどまらず、お客様の経営課題解決の支援等に積極的に取り組んだことにより、貸出金平残は前年同期末比149億円2.4%増加の6,207億円となりました。



■コア業務純益（除く投資信託解約損益）

～本業利益は着実に増加～

資金利益が増加するなど本業が堅調に推移したこと等により、本業の収益力を示す投資信託解約損益を除くコア業務純益は18億50百万円と着実に増加しております。

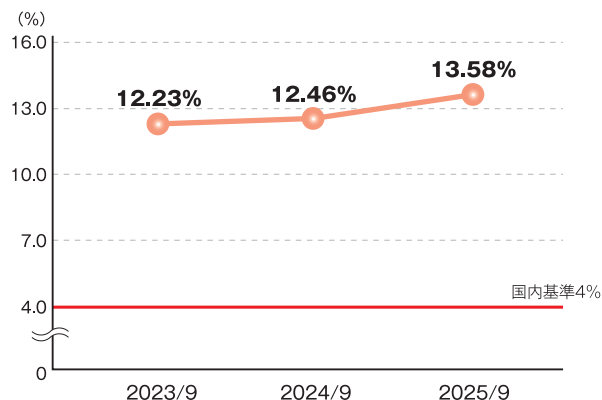


■自己資本比率（国内基準）

～高水準の自己資本比率を堅持～

自己資本比率は13.58%と国内基準の4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しております。

※2025年3月末より、バーゼルⅢ最終化を適用しております。

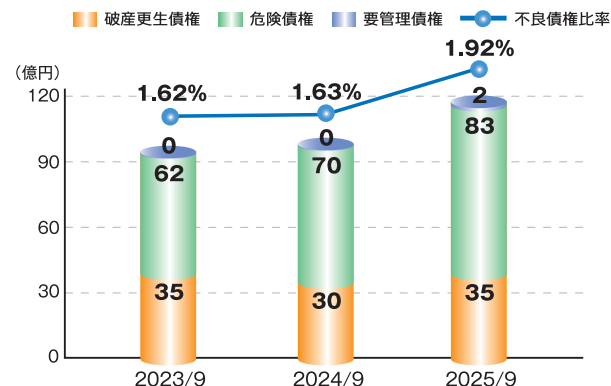


■不良債権の状況

～1%台 高い健全性を維持～

金融再生法開示債権およびリスク管理債権は122億13百万円となり、総与信残高に占める割合は1.92%となりました。

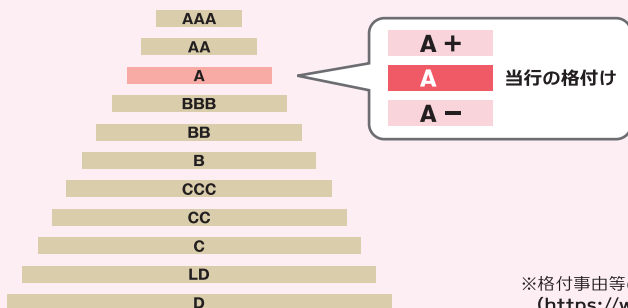
なお、同債権の87.7%を担保等でカバーしており、高い健全性を維持しております。



■株式会社日本格付研究所（JCR）の格付取得について

当行は今般、株式会社日本格付研究所（JCR）から、長期発行体格付「A」（シングルA）を取得いたしました。

中立的な第三者機関から客観的な評価を取得することにより、株主、取引先をはじめとしたステークホルダーの皆さまに財務内容の健全性を広くご理解いただくとともに、経営の透明性と対外的な信用力を高め、持続的成長に向けた経営基盤の拡大を図ることを目的としています。



◇格付の内容

- 長期発行体格付 A（シングルA）
格付の見通し 安定的
- 格付機関
株式会社日本格付研究所（JCR）
- 格付公表日
2025年5月9日

※格付事由等の詳細につきましては、株式会社日本格付研究所ホームページ（<https://www.jcr.co.jp>）をご参照ください。

創立100周年記念事業の展開

100周年記念ロゴの制定

当行は、2026年11月12日に創立100周年を迎えます。これもひとえにお客様、地域の皆さまをはじめとしたステークホルダーの皆さまのご支援、ご愛顧の賜物であり、感謝申し上げます。

このたび記念事業のシンボルとして“100周年記念ロゴ”を制定いたしました。ロゴマークは、100年という長い歩みを支えてくださった皆さまへの敬意と感謝、これからも変わらず寄り添い続ける姿勢を表現しております。

役職員一同、これからも皆さまに愛される“しずちゅう”を目指してまいります。



本社ビル（本部別館・本店ビル）の建替え

当行は、本社ビルの建替えを創立100周年記念事業の一環として位置付けております。初めに「本部別館」の建替えを行い（2025年8月着工、2027年夏竣工予定）、その後、「本店ビル」の建替え（2030年度竣工予定）を行う計画です。

新本社ビルは、南海トラフ巨大地震等を見据えた耐震安全性を備え、人命安全確保に加えて、本社機能を継続できる体制を確保します。

特徴的なバルコニーを備えた新本社ビルのデザインは、まちの賑わいを発信し、地域のお客様とともに歴史を積み重ね、地域社会の持続的成長に貢献していくことを表しています。

～建物のコンセプト～

創立100周年を迎えて、これからも地域とともに
歴史を積み重ねる新本社ビル



新本社ビル イメージ図 左側「本店ビル」、右側「本部別館」

詳細は、当行ウェブサイトをご確認ください。

URL : <https://www.shizuokachuo-bank.co.jp/release/>

地域密着型金融の推進

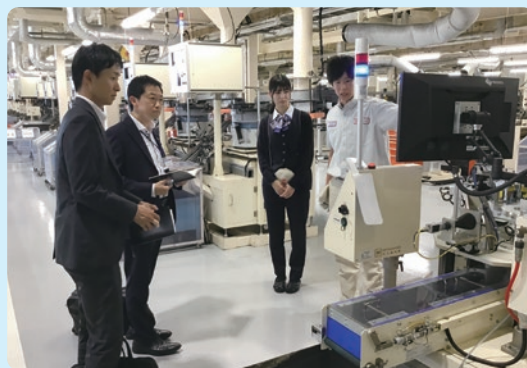
●事業性評価向上による本業支援とコンサルティング機能の発揮

本業支援による金融仲介機能の発揮

当行では、地域金融機関の使命として、従来以上にマーケティングや外部専門機関との連携を強化し、地域のお客様に対する円滑な資金供給、各種ソリューションの提供等により、金融仲介機能の発揮に努めております。

今後も「訪問頻度管理」によるお客様への定期的な訪問を徹底し、「本業支援ヒアリングシート」※を活用することで、取引先の事業内容やニーズ等の把握に努め、そのニーズに対する迅速な対応、各種情報提供等に積極的に取組んでまいります。

※取引先の事業性や成長可能性等を適切に評価し、助言・支援する当行独自のツール。



撮影協力：株式会社イズラシ

外部専門機関との連携強化 ～専門的ニーズに積極的に対応～

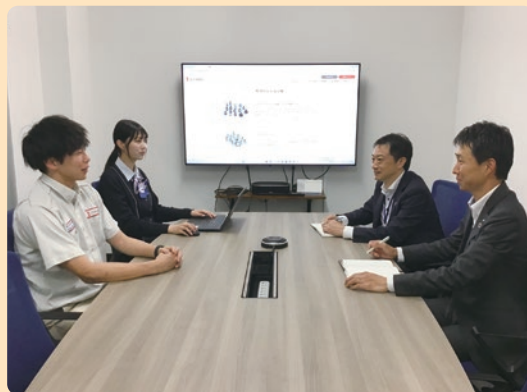
当行では、お客様の事業承継・M&A・相続・補助金申請サポート等、より専門的なニーズに対し、外部専門機関と連携しながら積極的に対応しております。

また、業務提携先・業務提携分野も順次拡大しており、2025年度（2025年4月～10月）は新たに8社の外部専門機関と業務提携契約を締結いたしました（2025年10月31日現在 86社と業務提携）。

今後も、地域金融機関としての役割を果たせるよう、お客様の課題解決のサポートに積極的に取組んでまいります。

提携分野

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 相続・事業承継・M&A | ⑥ リース関連 |
| ② 補助金申請 | ⑦ システム導入関連 |
| ③ 人材紹介 | ⑧ 節税関連 |
| ④ 建設・不動産関係 | ⑨ 企業支援・コンサル関連 |
| ⑤ 販路開拓 | ⑩ 経費削減関連 他 |



撮影協力：株式会社イズラシ

地域密着型金融の推進

●お客様に喜ばれる商品・サービスの提供

「お買い物券付定期預金」による地域貢献

2007年12月より、地域の面的支援として、地元商店街やショッピングセンター等で利用できる「お買い物券」を預入額に応じてプレゼントする「お買い物券付定期預金」の販売を開始いたしました。

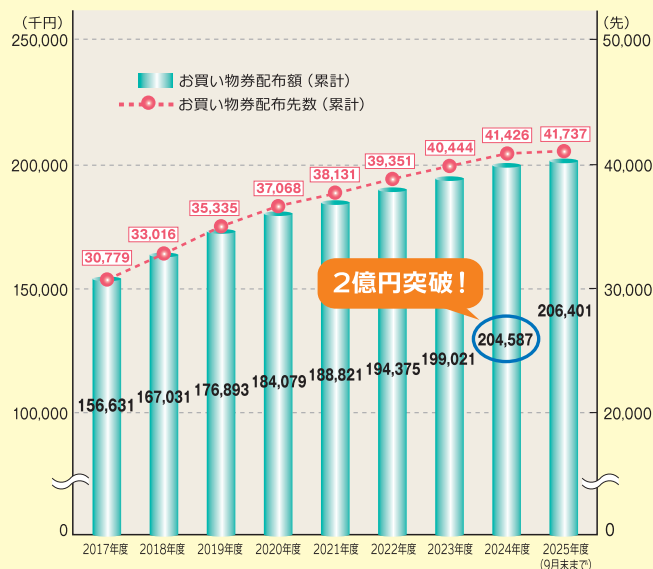
2025年度（9月末まで）は、計4回（5地区）実施しました。

今後も、お客様のニーズに合った商品・サービスの提供を通じて、地域社会の発展に貢献してまいります。

「お買い物券付定期預金実績（累計）」

（2007年12月～2025年9月）

- 実施回数：211回（21地区）
- お買い物券配布先数：延4万名
- お買い物券配布額：約2億円



「しずちゅうNISAキャンペーン」実施中！！

当行では、お客様の資産形成のサポートをするため、「しずちゅうNISAキャンペーン」を実施しております。

キャンペーン期間中に以下コース条件のいずれかを満たした場合に、QUOカード1,000円分をプレゼントいたします。

- キャンペーン期間：2025年10月1日～2026年3月31日
- キャンペーン内容

コース1 キャンペーン期間中に当行でNISAを利用して2024年1月以降初めて投資信託をご購入いただいたお客様にQUOカード1,000円分をプレゼント

コース2 キャンペーン期間中に、ご家族やご友人をご紹介していただき、ご紹介された方が新たにNISA口座を開設して、投資信託をご購入（NISAを利用）いただいた場合、ご紹介者様・ご紹介された方にQUOカード1,000円分をプレゼント



●地域に根差した地域貢献活動の取り組み

「しずちゅうミニ銀行員体験講座」開催

当行では、職業体験を通して、地域の仕事を知ってもらい、将来地元で働く選択肢の一つとなるように「銀行の仕事ってなに？しずちゅうミニ銀行員体験講座」を、静岡県東部地域局が主催する小学生職場体験講座に賛同し開催いたしました。

「お金」の基本的な知識や銀行の仕事内容を紹介し、体験講座では「ミニ銀行員」として、実際に端末を操作し通帳に入金するなど銀行員の仕事を体験していただきました。



「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」開催

当行では、2012年より学童の心身の健全な育成支援のため、「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」（「静岡県野球連盟」及び「静岡県野球連盟少年部」主催）に特別協賛しております。

2025年6月には、「第13回」大会を開催いたしました。

今後も、学童の健全な成長を応援し、地域社会の発展に貢献してまいります。



第13回大会優勝チーム 富士根南エコース

「富士山フォトコンテスト」開催

当行では、1958年以来、富士山の風景写真を使用したカレンダーを毎年発行しており、大変ご好評をいただいております。

また、2011年5月より、“ふじのくに”静岡の魅力を県内外に紹介し、地域活性化を目的とした「富士山フォトコンテスト」を開催しており、今年は応募者160名、応募点数511点と全国の写真愛好家の方から多数の作品をご応募いただきました。

【最優秀賞】作品名「春に包まれた富士山」佐藤 芳輝 様

※本紙の表紙の写真が最優秀賞作品です。

なお、当行の2026年カレンダーにも採用させていただきます。



サステナビリティへの取り組み

2023年4月に「サステナビリティ方針」を策定し、当行のサステナビリティに対する基本的な考え方を明示いたしました。本方針に則り、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティ方針

静岡中央銀行は、経営理念「堅実で健全な経営」に基づく企業活動を通じて、気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に取組み、地域経済の発展と当行の企業価値向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

●SDGsへの取り組み

静岡中央銀行SDGs宣言

静岡中央銀行は、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、企業活動を通じて地域の課題解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

重点取組方針

【地域経済の持続的発展への貢献】

お客様のベストパートナーとして、金融仲介機能を発揮し、地域企業や地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

【多様な人材の活躍】

すべての役職員が活躍できるよう、環境整備、人材育成に取り組んでまいります。

【地域の環境保全】

お客様の環境保全に向けた取組みを支援し、自らも環境負荷低減に向けた取組みを推進してまいります。

対応するSDGs目標

【地域経済の持続的発展への貢献】



【多様な人材の活躍】



【地域の環境保全】



●気候変動への対応

「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への取り組み

2022年7月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同を表明し、気候変動・環境問題への取り組みを強化するとともに、TCFD提言を踏まえた気候変動リスク・機会に関連する情報開示の充実にも努めてまいります。

■CO2 排出量削減

定 義	Scope1およびScope2※1に該当するCO2排出量
目 標	(中間目標) 2030年度までに2013年度比▲46% 2035年度までに2013年度比▲60% 2040年度までに2013年度比▲73% (最終目標) 2050年度までにカーボンニュートラル実現
実 績	2024年度実績 2013年度比▲28.7%

※1
Scope1：(直接排出) 車両によるガソリン使用、ガスの使用
Scope2：(間接排出) 電気の使用

■サステナブル関連投融資

定 義	気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に向けた取り組みを支援・促進する投融資
目 標	2023年度から2030年度までに500億円
実 績	2023年度から2024年度までの実績 228億円（2024年度実績：99億円）

環境負荷低減に配慮した本社ビルの建替え計画

当行では、本社ビル2棟（静岡県沼津市）の建替えを計画しております。（5ページ参照）

新本社ビルは、持続可能な社会の実現・環境負荷低減に積極的に貢献することを目的とした建物計画としており、積極的に木材を有効利用することで、低炭素社会、循環型社会形成の実現に寄与します。

※「ZEB Ready」および「CASBEE 静岡Sランク」取得見込み



沼津駅方面から見た新本社ビル イメージ図

第152期中間連結貸借対照表
(2025年9月30日現在)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	85,211
有価証券	144,403
貸出金	633,094
その他資産	4,476
有形固定資産	8,648
無形固定資産	595
退職給付に係る資産	80
繰延税金資産	0
支払承諾見返	1,710
貸倒引当金	△4,071
資産の部合計	874,150
負債の部	
預金	734,186
借入金	51,800
その他負債	7,636
賞与引当金	389
退職給付に係る負債	3
役員退職慰労引当金	796
偶発損失引当金	369
繰延税金負債	3,564
再評価に係る繰延税金負債	1,348
支払承諾	1,710
負債の部合計	801,804
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	54,032
株主資本合計	56,033
その他有価証券評価差額金	13,210
土地再評価差額金	3,036
退職給付に係る調整累計額	65
その他の包括利益累計額合計	16,311
純資産の部合計	72,345
負債及び純資産の部合計	874,150

第152期中間連結損益計算書
(2025年4月1日から2025年9月30日まで)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
経常収益	8,162
資金運用収益	6,997
(うち貸出金利息)	5,208
(うち有価証券利息配当金)	1,623
役務取引等収益	712
その他経常収益	452
経常費用	5,786
資金調達費用	968
(うち預金利息)	950
役務取引等費用	819
営業経費	3,708
その他経常費用	289
経常利益	2,376
特別利益	—
特別損失	30
固定資産処分損	30
税金等調整前中間純利益	2,345
法人税、住民税及び事業税	718
法人税等調整額	△85
法人税等合計	633
中間純利益	1,712
親会社株主に帰属する中間純利益	1,712

第152期中間連結株主資本等変動計算書
(2025年4月1日から2025年9月30日まで)

科 目	株 主 資 本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,000	0	52,379	54,381
当中間期変動額				
剰余金の配当			△60	△60
親会社株主に帰属する中間純利益			1,712	1,712
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	—	—	1,652	1,652
当中間期末残高	2,000	0	54,032	56,033

科 目	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	9,947	3,055	79	13,082	67,463
当中間期変動額					
剰余金の配当					△60
親会社株主に帰属する中間純利益					1,712
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	3,262	△18	△14	3,229	3,229
当中間期変動額合計	3,262	△18	△14	3,229	4,882
当中間期末残高	13,210	3,036	65	16,311	72,345

連結財務諸表

第152期中間貸借対照表
(2025年9月30日現在)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	85,211
有価証券	143,129
貸出金	633,094
その他資産	4,412
有形固定資産	8,496
無形固定資産	594
支払承諾見返	1,710
貸倒引当金	△3,978
資産の部合計	872,671
負債の部	
預金	736,410
借入金	51,800
その他負債	6,001
賞与引当金	389
退職給付引当金	16
役員退職慰労引当金	796
偶発損失引当金	369
繰延税金負債	3,436
再評価に係る繰延税金負債	1,348
支払承諾	1,710
負債の部合計	802,279
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	52,427
株主資本合計	54,428
その他有価証券評価差額金	12,927
土地再評価差額金	3,036
評価・換算差額等合計	15,963
純資産の部合計	70,392
負債及び純資産の部合計	872,671

第152期中間損益計算書
(2025年4月1日から2025年9月30日まで)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
経常収益	8,096
資金運用収益	6,999
(うち貸出金利息)	5,208
(うち有価証券利息配当金)	1,625
役務取引等収益	644
その他経常収益	451
経常費用	5,854
資金調達費用	970
(うち預金利息)	952
役務取引等費用	890
営業経費	3,697
その他経常費用	296
経常利益	2,242
特別利益	—
特別損失	30
固定資産処分損	30
税引前中間純利益	2,211
法人税、住民税及び事業税	676
法人税等調整額	△90
法人税等合計	585
中間純利益	1,626

第152期中間株主資本等変動計算書
(2025年4月1日から2025年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	株 主 資 本									
	資本金	資本剰余金		利益剰余金						株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計	
					役員退職積立金	有価証券償却準備積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	41,808	3,302	50,861	52,862
当中間期変動額										
剰余金の配当								△60	△60	△60
別途積立金の積立							2,500	△2,500	—	—
中間純利益								1,626	1,626	1,626
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）										
当中間期変動額合計	—	—	—	—	—	—	2,500	△933	1,566	1,566
当中間期末残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	44,308	2,368	52,427	54,428

科 目	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	9,702	3,055	12,757	65,620
当中間期変動額				
剰余金の配当				△60
別途積立金の積立				—
中間純利益				1,626
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	3,225	△18	3,206	3,206
当中間期変動額合計	3,225	△18	3,206	4,772
当中間期末残高	12,927	3,036	15,963	70,392

株式の状況 (2025年9月30日現在)

- ・発行する株式の総数 96,000千株
- ・発行済株式の総数 24,000千株
- ・株主数 1,441名

大株主の状況 (2025年9月30日現在)

株主の氏名または名称	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
損害保険ジャパン株式会社	2,539	10.58
静岡中央銀行行員持株会	1,630	6.79
東京海上日動火災保険株式会社	1,385	5.77
株式会社三菱UFJ銀行	1,200	5.00
株式会社大林組	1,200	5.00
野村ホールディングス株式会社	1,200	5.00
三信株式会社	1,200	5.00
オークラヤ住宅株式会社	1,200	5.00
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,148	4.78
東洋電機製造株式会社	1,110	4.62

株式のご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催予定
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

役員の状況 (2025年9月30日現在)

代表取締役会長	清 野 眞 司
代表取締役社長	小 森 博 史
代表取締役専務	林 道 弘
常 務 取 締 役	芦 川 哲 也
常 務 取 締 役	野 中 久 記
常 務 取 締 役	青 島 厚 志
常 務 取 締 役	守 分 宏 一
常 務 取 締 役	浅 賀 友 秋
取 締 役	渡 邊 芳 和
取 締 役	金 子 良 雄
取 締 役	名 波 忠 広
取 締 役	増 田 和 彦
取 締 役	内 海 順 太
取 締 役	平 山 浩 二
取 締 役	森 陽 介
取 締 役	澤 田 武 嗣
取 締 役	小 野 真 良
取締役(社外取締役)	藤 田 燈
常 勤 監 査 役	土 居 敏 彦
常 勤 監 査 役	那 須 田 研 二
監査役(社外監査役)	林 宣 男
監査役(社外監査役)	熱 田 稔 敬

連結子会社の状況 (2025年9月30日現在)

名 称	所在地	主な業務内容	資本金
静岡中央信用保証株式会社	沼津市上土町14番地	信用保証・調査業務	330百万円
岳洋産業株式会社	沼津市大手町4丁目76番地	静岡中央銀行への不動産賃貸及びATM精査業務	10百万円

店舗のご案内 (2025年11月30日現在)

窓口営業時間 平日9:00~15:00



静岡県

本店営業部 (055) 962-6111 沼津市大手町4丁目76番地	御殿場支店 (0550) 82-1345 御殿場市新橋1917番地の1	焼津支店★ (054) 628-4125 焼津市本町2丁目1番1号	熱海支店 (0557) 81-6191 熱海市銀座町10番23号
サントムーン柿田川出張所★ (055) 973-5888 駿東郡清水町玉川61番地の2	吉原支店 (0545) 52-5125 富士市吉原2丁目4番4号	島田支店★ (0547) 37-3161 島田市本通3丁目6番1号	伊東支店 (0557) 37-6636 伊東市中央町10番8号
沼津北支店 (055) 921-1766 沼津市寿町3番3号	富士支店 (0545) 61-1904 富士市本町13番17号	浜松支店 (053) 454-6201 浜松市中央区伝馬町313番地の21	稲取支店★ (0557) 95-1200 賀茂郡東伊豆町稲取708番地の1
沼津東支店★ (055) 923-7221 沼津市三枚橋杉崎町426番の2	富士宮支店 (0544) 26-8121 富士宮市ひばりが丘1124番地	浜松北支店★ (053) 472-2241 浜松市中央区幸1丁目3番7号	下田支店 (0558) 22-3331 下田市2丁目10番17号
三島支店★ (055) 975-2300 三島市本町7番26号	静岡支店 (054) 253-2125 静岡市葵区常盤町2丁目1番地の5	浜松東支店★ (053) 421-3155 浜松市中央区緑ヶ瀬町1243番地	南伊豆出張所★ (0558) 62-0025 賀茂郡南伊豆町下賀茂174番地の1
長泉支店 (055) 986-3030 駿東郡長泉町中土狩347-1	マークイズ静岡出張所★ (054) 262-6611 静岡市葵区榎木1026	磐田支店★ (0538) 34-2211 磐田市中泉622番地3	松崎支店★ (0558) 42-0280 賀茂郡松崎町崎崎375番地の4
修善寺支店★ (0558) 72-2145 伊豆市柏久保553番地の1	清水支店★ (054) 352-0191 静岡市清水区万世町2丁目6番16号		

神奈川県

川崎支店★ (044) 244-7321 川崎市川崎区東田町8番地 (パレール三井ビルディング10F)	香川支店 (0467) 57-7111 茅ヶ崎市香川4丁目44番5号	寒川支店 (0467) 74-1510 高座郡寒川町倉見482番の3	綾瀬支店 (0467) 76-4141 綾瀬市深谷上6丁目16番22号
横浜支店 (045) 751-6100 横浜市中区丸山2丁目5番1号	湘南モールフィロ出張所★ (0466) 34-7015 藤沢市辻堂新町4丁目1番1号	座間支店 (046) 254-3151 座間市入谷西2丁目56番8号	番田支店 (042) 778-4177 相模原市中央区上溝367番地の6
中山支店 (045) 934-1161 横浜市緑区青砥町172番地4	小田原支店 (0465) 22-9201 小田原市栄町1丁目16番35号	平塚支店 (0463) 54-1100 平塚市横内2291番地	厚木支店 (046) 233-8500 海老名市中新田2丁目14番1号
善行支店 (0466) 82-2311 藤沢市善行1丁目23番地の4	渋沢支店 (0463) 88-3555 秦野市曲松2丁目2番15号	中央林間支店 (046) 274-1115 大和市中央林間3丁目10番10号	ららぽーと海老名出張所 (046) 235-2251 海老名市扇町13番1号

東京都

東京支店★ (03) 5860-1615
港区愛宕1丁目3番4号 (愛宕東洋ビル7F)

住宅ローンセンター

岳麓住宅ローンセンター (055) 962-3300 沼津市大手町4丁目76番地	静岡住宅ローンセンター (054) 262-3232 静岡市葵区榎木1026 (マークイズ静岡出張所内)	遠州住宅ローンセンター (053) 454-6220 浜松市中央区伝馬町313番地の21 (浜松支店内)
湘南住宅ローンセンター (0466) 34-7078 藤沢市辻堂新町4丁目1番1号 (湘南モールフィロ出張所内)	湘南住宅ローンセンター(海老名) (046) 206-6015 海老名市扇町13番1号 (ららぽーと海老名出張所内)	

CSショップの店舗営業時間は平日・土曜日10:00~18:00です。

※サントムーン柿田川出張所・マークイズ静岡出張所・湘南モールフィロ出張所の店舗営業時間は10:00~12:00、13:00~18:00です。

★印がついている店舗は12:00~13:00は窓口営業を休止させていただきます。

SHIZUOKA CHUO BANK

店舗のご案内

“お客様・地域社会と共に発展しベストパートナー
として信頼される銀行”を目指します。



静岡中央銀行

表紙の 写真

2026年カレンダー 富士山フォトコンテスト
最優秀賞「春に包まれた富士山」佐藤 芳輝氏 撮影

桜と富士山の競演、春爛漫。大人しい構図ながら、咲き誇る桜に
囲まれ、どっしりと落ち着いた中央の霊峰富士。一年を通して
観ていても飽きがこない日本情緒豊かな力作です。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮し、植物インクを
使用しています。

THE SHIZUOKACHUO BANK,LTD.

■発行 2025年12月

株式会社静岡中央銀行/経営管理部

〒410-0801 沼津市大手町4丁目76番地

TEL. 055-962-6113

■ホームページアドレス

<https://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>